

住民の歯の健康づくり得点向上のための歯科衛生士訪問およびリーフレット郵送による介入研究

サカキバラ ヤスト モリ タ イチゾウ ツボイ シンジ コバヤシ マツミ
 榊原 康人* 森田 一三* 坪井 信二* 小林 松美^{2*}
 ワタナベ シズオ マツヒサ カツヒコ ナカガキ ハルオ
 渡邊 静男^{3*} 松久 勝彦^{3*} 中垣 晴男*

目的 愛知県飛島村において、住民に対して、歯科衛生士による個別訪問指導、もしくは、歯の健康づくり得点の内容に合わせて作成したリーフレット郵送による介入を行い、歯の健康づくり得点の向上効果を比較することを目的とした。

方法 2004年5月に愛知県飛島村で行われた定期住民健康診査において、歯科の診査を受けた786人のうち、歯の健康づくり得点が15点以下で、1歯以上保有する446人を対象者とした。対象者は、年代別、男女別に、無作為に3群に分け、歯科衛生士による個別訪問を行い指導する群（訪問群）、リーフレットを年に3回郵送する群（年3回郵送群）およびリーフレットを年に1回郵送する群（年1回郵送群）とした。分析は、2007年5月の定期住民健康診査を受診した対象者のうち、歯科衛生士による訪問を1回以上受けた訪問群、年3回郵送群および年1回郵送群の間で、歯の健康づくり得点の増加率を比較した。分析は各群の間でMann-Whitney検定および費用効果分析を行った。

結果 男女合わせての歯の健康づくり得点の増加率は、3年間で訪問群が $46.2 \pm 8.1\%$ 、年3回郵送群は $31.2 \pm 4.4\%$ 、年1回郵送群は $25.0 \pm 5.2\%$ であった。歯の健康づくり得点の増加率は訪問群、年3回郵送群そして年1回郵送群の順で低くなり、訪問群は年1回郵送群よりも有意に高かった（ $P < 0.05$ ）。

結論 歯の健康づくり得点が目標値16点未満である15点以下の地域住民を対象として、3種の方法で介入を行った結果、歯科衛生士による個別訪問は、リーフレットの郵送よりも効果があり、歯の健康づくり得点の増加率が高かった。一方、リーフレットの郵送に関しては、同一期間中に多数回の郵送を行う方が、少ない回数の郵送を行うよりも点数を向上させる効果が高くなると結論できる。

Key words : 歯の健康づくり, 8020運動, 市町村, 歯科衛生士, 生活習慣

* 愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座

^{2*} 愛知県海部郡飛島村民生部保健福祉課

^{3*} 愛知県海部郡歯科医師会

連絡先：〒464-8650 愛知県名古屋市千種区楠元町

1丁目100番地

愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座 榊原康人